



# 市川のほそだ伸一です。

## 皆さまこんにちは、ほそだ伸一です。

キンモクセイの香りが街中に広がり公園の木々が紅く色づくのはとても風情のあるものですが、「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」の言葉通り、日の暮れは日毎に早まり、木枯らしが運んでくる冬の足音には一抹の寂しささえ感じる今日この頃です。皆さまお変わりございませんか。

皆さまのお力により 4 月の統一選で市川市議会議員に当選させていただきましてから、何かと慌しく半年が過ぎ、皆さまにはすっかりご無沙汰いたしまして失礼しております。6 月に続き平成 27 年度 2 回目となる市川市議会 9 月の定例会（9/2～10/2）が無事終了したものの、翌日からはさっそく各委員会や部会の公務が始まり、休日ともなれば市内各地で開催される祭事・イベントでのお手伝いに参加させていただくという、ハードな日々が続いております。

### ほそだ伸一が委員を務める委員会

- 健康福祉委員会(副委員長)
- 東京外郭環状道路特別委員会
- 議会運営委員会
- 百条委員会(政務活動費等により切手を大量に購入した議員の調査に関する特別委員会)

祭りといえば先日、地元新田春日・胡録両神社の祭礼で 14 歳になる愚息とともに神輿担ぎに参加して参りました。地元の方々を中心に 100 人以上でかわるがわる担ぐため、日々の運動不足解消でいい汗流そうなどと簡単に考えていたのですが、とんでもない。始まって数百メートル足らずで早くも滝のように汗が噴き出し、肩は痛み、おまけに足はつっぱる始末。

果たして 3.7km も持ちこたえられるだろうかと不安になりましたが、担ぎ手の皆さまの力強いリードのおかげでなんとか担ぎきることができました。

途中、休憩所となっている公園や小学校、また最後の宮入場所である春日神社の境内では、祭礼を切り盛りしてくださった方々や町内会の皆さんと、短い時間ではありましたが楽しく話をさせていただきました。先人の方々が育ててこられた祭礼という伝統文化をしっかりと受け継いでゆくことで、町内の皆さんとの交流が深まり、絆が生まれます。これは、文化の保存という教育の側面だけでなく、いわゆる互助・共助の志を育み保つ上でとても重要なことだと改めて痛感させられました。まさに市政の原点と言ってもよいものが、そこにはあるように思います。

16 歳になっている愚息とともに、2 年後の祭りが今から楽しみでなりません。



**ほそだ伸一** 1965年3月16日 市川市生まれ

- 市川市議会議員
- つくし幼稚園・平田小学校・第八中学校・明治大学法学部卒
- 実家は新田4丁目にあった二葉食肉店
- あさっての市川を考える会 代表・市川食育いいね!倶楽部 代表



オフィシャルサイト



フェイスブック



市川いいね!倶楽部

市川でつながる  
FBグループ